

編集後記

本年度も無事に『川崎大師教学研究所紀要』を発行することができました。今回が第一〇号となり、号数もいよいよ二桁になりました。

この度の紀要には、アレクシス・サンダーソン先生（オックスフォード大学名誉教授）、苦米地誠一先生（大正大学名誉教授）、元山公寿先生（智山勸学会理事長）、Daisuke Cheung 先生（オーストラリア科学アカデミー）の御論文が掲載されております。サンダーソン先生の御論文は『密教学研究』第五六号に掲載された英語論文の和訳になります。先生の御論文は仏教が密教に発展していくなかで、仏教外の宗教がどのような影響を及ぼしているのか、という大変大きなテーマを取り扱っております。このテーマに関する日本語の著作は少なく、今回の和訳論文は日本人の方々に当該テーマについて理解を深めていただく良い機会になると思っております。

Cheung 先生の御論文は、中国チベット自治区に保存されている貴重なサンスクリット語写本にもとづく厳密

な文献研究であります。その他、本研究所に所属する中堅・若手研究者による堅実な研究が掲載されております。本研究所では、引き続きテキスト校訂、翻刻、訳注といった基礎的な研究を積極的に出版し、広く仏教学の諸分野に貢献できるように努めていきたいと思えます。

戦争や自然災害、また物価高など私たちの暮らしを取り巻く環境も厳しくなっております。そのような中で、着実に学術研究活動が継続できることを関係各位に感謝申し上げます。
(種村隆元 記)

令和七年三月二十一日発行
川崎大師教学研究所 紀要 (第10号)

発行	川崎大師教学研究所
発行代表者	佐藤 隆一
編集者	種村 隆元
〒二一〇〇八一二	神奈川県
川崎市川崎区東門前一―九九	
電話 (〇四四) 二九九―五一二	
制作	図書出版(株)ノンブル社

CONTENTS

Seiichi Tomabechi

On the Narrative of the Foundation of Kōyasan: Development after Insei Period	1
---	---

Daiju Sasaki

An Annotated Translation of Hōsū's <i>Buttyosonsyōdaranikyō Kyōzyaku giki</i> , Part 4	43
--	----

Kojun Bessho

An Annotated Translation of Ryōken's <i>Tashi Haketsu Shū</i> (<i>Refutations of Other Masters' Views</i>) (8): Volume 2-2	73
--	----

Shin'yu (Yuta) Suzuki

A Transcription and Japanese Translation of Shōken's <i>Shakuron-hyakujō-daisanjū: Yakuken yakumitsu</i>	113
--	-----

Ryushin Satake

One Aspect of the Restoration of the Precepts in early Edo Period: Focusing upon Genko-ji Unshō Jitsudō	173
---	-----

Shinsho Komai

The <i>*Mahājñānābhīṣekadhāraṇīmaṇḍala</i> Chapter of <i>Vajrapāṇyabhiṣeka-tantra</i> , Part 3: A Collated Tibetan Text and Annotated Japanese Translation	(99)
--	------

Daisy Sze Yui Cheung

New Page From the Tibet Museum birch-bark Manuscript(2): New Sanskrit Fragments of the <i>Sattvārāghanastava</i> Attributed to Nāgārjuna	(71)
--	------

Koju Motoyama

The Annotated Translation for “*The History for the Development of the Esoteric Buddhism*” by Seigai Omura II-(1) (47)

Alexis Sanderson, Translated by Ryugen Tanemura

The Role of Śaivism in the Tantric Transformation of Buddhism: 1. Tantric Traditions in the Time of Dharmakīrti and Śākyabuddhi (1)